

「国連生物多様性の10年」 NGOプラットフォーム構築事業

〒186-0005
東京都国立市西2丁目8-99 102号
電話:050-5897-0388
E-mail:inq@jcnundb.org
http://jcnundb.org/



ひろげる助成

3年目

国際会議



国際会議でワークショップに参加

生物多様性条約準備会合での
提言数

4件

国際会議に向けた能力開発勉強会

35回

今年度計画の達成度

95%

活動の全体目標に対する達成度

90%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

専門性や組織運営力を持つメンバーが限られており、活動が十分に拡大できていない。会員に対する能力開発に力を入れているが、国際会議で提言できるまでにはいたっていない。

■ 工夫した点

当会主催の会員向け勉強会・一般向けシンポジウムを継続・拡大し、活動に参画するメンバーの拡大を図った。また、国際会議参加に向けたマニュアルを作成した。

課題

愛知ターゲット達成に向け、生物多様性の認知度低下の一因である現場のNGOのリソース不足と能力不足に対し、その強化に向けた国際的な連携強化と能力開発を行う。

目標

12の愛知ターゲットについて提言および能力開発できる能力の獲得。当会の団体会員10組織以上の国際会議での提言活動参画。国際会議における現場の事例収集と貢献。

活動内容と成果

生物多様性条約締約国会議等において、国内外のNGOを中心とした多様な主体と連携して生物多様性の保全がより効果的に行われるよう提言を行い、会議の結果を国内に展開した。「愛知ターゲット」達成年の2020年を見据え、主要議題に関する国際会議への提言についてセミナー等で能力開発し、メルマガ・Webサイト・facebook等の電子媒体及び提言書・論説集等の紙媒体により情報発信した。

これにより、10個の愛知ターゲットに関連してのべ15件の提言を行い、新規に40組織と連携し、のべ17事例について発信した。



国際会議参加報告会

全助成期間の活動を振り返って

国内NGOとの連携強化や提言に向けた能力開発勉強会などの活動により、当ネットワークが国際会議での提言を進める団体として認知が広がってきた。しかしながら、より多くの団体の力を集め、地域での生物多様性保全の課題解決に向けて国際会議で提言することはまだ十分にできていない。その実現に向けて、さらに広い範囲のステークホルダーとの連携を図り、能力開発を進めていきたい。



海辺の環境教育プラットフォームで海洋保全を議論

今後の展望

連携先をNGOに限らない行政を含むマルチステークホルダーに拡大するとともに、これまでに得られた優良事例等を活かし、地域に根差した生物多様性保全戦略構築を支援することで、愛知ターゲット達成に向けた貢献を強化していく。

また、今年度作成した「CBD in a Nutshell日本語版」を活用し、これまで当会が提唱してきた「国際会議と地域をつなぐ」ことをさらに強化していく。